

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
広島工業大学 専門学校	昭和59年1月14日	玉 野 和 保	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1 (電話) 082-295-5111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人鶴学園	昭和32年11月27日	鶴 衛	〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 (電話) 082-921-3121			
目 的	IT知識・技術の基礎・基本を学び、システム開発やプログラミング能力を身に付ける。将来システムエンジニアとして、プロジェクトに参画できる人材を育成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課 程	ITスペシャリス ト学科	3年(昼)	2,944単位時間	平成22年文部科学 大臣告示第31号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,888単位時間	0単位時間	0単位時間	1,408単位時間	0単位時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	28人	5人	5人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・課題・小テストや、授業態度、また出席状況等を総合的に判定し、科目担当教員が評価。	
長期休み	■学年始め：4月4日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～翌年1月7日 ■学 年 末：3月18日～4月3日			卒業・進級条件	卒業条件は、学科の定める卒業認定単位数を満たしていること。進級条件は、出席率80%以上、必須科目の単位の取得を原則とし、学科判定会議、学校全体の認定会議で審議。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 出席率不良(80%未満)学生について、個別の状況把握に努め早期対応を行う。長期欠席者に対しては学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて生活指導・進路指導を行う。			課外活動	■課外活動の種類 地域ボランティア清掃、広島市グリーンパートナー、みちのく未来基金募金活動等。 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界 (株)ECS、(株)ウィンシステムズ、(株)エイジエック、日本自動化開発(株)、中国電設工業(株)、中国計器工業(株)</p> <p>■就職率^{※1} 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 86%</p> <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年9月時点の情報)</p>	主な資格・検定	ITパスポート 基本情報技術者試験 応用情報技術者試験
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月1日在学者 22名 (平成26年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 22名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>中途退学は学生本人の生涯に関わる事柄であるため、学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて進路指導を行い、中退防止に努めている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.hitp.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

日進月歩の勢いで進化するIT業界において、即戦力となる人材を育成するため、企業等と連携し、システムエンジニアやプログラマーに求められる知識・技術をカリキュラムおよび授業内容に反映させる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
高 羽 威	一般社団法人 広島県情報産業協会
渡 部 孝	エム・ディ・エス株式会社
田 淵 信 夫	株式会社リマック
中 元 正 彦	株式会社 ECS

(開催日時)

第1回 平成28年6月 7日 (火) 15:00～17:00

第2回 平成29年1月31日 (火) 15:00～17:00 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

ITに関する実践的な技術が必要とされる中で、システム開発等に関わる技術やスキルを学生に身に付けさせるため、専門性に特化したシステム開発企業と連携し、当該企業の技術者を講師とする実践的な授業を展開することとする。また、同時に実習における学習成果等に対して評価を行う体制を学校と連携して取ることが可能な企業であることとしている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ネットワーク応用	インターネットの仕組みや接続方法、Webブラウザ、メールクライアントの設定、セキュリティ、サービスの利用と法律を学ぶ。	株式会社 リマック
システム開発実践	クラウド開発環境である Salsefoce を使い、システム開発を行い、実践的な開発手法を学ぶ	株式会社 ECS

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員の専門的な知識や技術・技能と学生に対する指導力等の向上を図るため、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会での審議を通じて示された意見や情報等を十分に把握した上で研修等を計画・実施し、教育活動の充実に努めることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
国 貞 和 彦	学校法人広陵学園 広陵高等学校
高 羽 威	一般社団法人 広島県情報産業協会 人材開発委員長
木 谷 幸 江	公益財団法人 日本照明家協会
宮 内 秀 実	河井建設工業株式会社
山 本 博	テンパール工業株式会社
大 島 晋 也	広島工業大学専門学校同窓会

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 I Tスペシャリスト学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			生き方講座 I	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	1前	32	1			○
○			生き方講座 II	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	1後	32	1			○
○			英語 I	短い読解文を読み文法的な基礎力、語彙力を身につける。また、シャドーイングによりプロソディを改善し、リスニングスキルを向上させるとともに会話表現を学ぶ。	1前	32	2	○		
○			コンピュータシステム	ハードウェア、ソフトウェア、コンピュータシステムに関する知識を学ぶ	1前	64	4	○		
○			アルゴリズム演習	基本的な命令の組み立て方を理解し、データ検索や並べ替えなどの代表的なアルゴリズムを学習する	1前	64	4	○		
○			データベース基礎	関係データベースを中心に、E-Rモデル、正規化、関係演算、トランザクション処理、障害回復方法について学ぶ。	1前	32	2	○		
○			システム設計基礎	システム開発技法に関する基本計画、外部設計、内部設計、プログラム設計、運用・保守の作業手順をドキュメント化し、簡単なシステムを作成しながら理解する。	1前	32	2	○		
○			ネットワーク基礎	OSI 参照モデルを基に、ネットワークを構成する機器の働き、各種プロトコルを学ぶとともに、セキュリティ対策についても学ぶ。	1前	64	4	○		
○			情報化と経営	ストラテジ分野である、情報システム戦略、経営戦略、企業と法務を学ぶ	1前	64	4	○		
○			Webデザイン基礎 I	Web ページを作成するための、Web デザイン、HTML、CSS の基礎知識を学び、Web サイト制作の実践を行う	1前	64	3	△		○

○			ドキュメント技法	ビジネス文章の作成について、基本ワープロソフトを活用し、作成方法を学ぶ。	1 前	32	1			○
○			表計算応用	さまざまなビジネスシーンで活用できる実践的な表計算ソフトの使い方を学ぶ。	1 前	32	1			○
○			文章技術	明快で論理的な「レポート」「実習報告書」等の作成能力を育成すると共に、論理的な思考を養う。	1 後	32	2	○		
○			Webデザイン基礎Ⅱ	Web ページを作成するための、Web デザイン、HTML、CSS の基礎知識を学び、Web サイト制作の実践を行う	1 後	64	3	△		○
○			アプリケーションプログラミング	プレゼンテーションとゲームのシナリオ作成、スクリプト言語の学習を行い、1つのゲーム作品を完成させる。	1 後	64	3	△		○
○			ネットワーク応用	インターネットの活用ができるように、仕組みや接続方法、Web ブラウザ、メールクライアントの設定、セキュリティ、サービスの利用と法律を学ぶ。	1 後	64	3	△		○
○			データベース応用	幾つかのRDBMSを使い、SELECT 文などのSQLの使い方や、トランザクション処理について学ぶ。	1 後	64	3	△		○
○			システム設計応用	システム開発についての知識の取得と、各システム開発の工程で実施すべき事柄を習得する。	1 後	32	2	○		
○			.netプログラミング	Visual Basic を用いたプログラミング実習を通じて、論理的思考能力の育成と基本的なアルゴリズムの習得をする。	1 後	96	4	△		○
○			プレゼンテーションB	PowerPoint を用いた効果的なプレゼンテーション資料の作成方法を学び、かつ作成した資料を用い説得力のあるプレゼンテーションの実技を行う。	1 後	32	1			○
○			コミュニケーションB	日常生活およびビジネスシーンで必要とされるコミュニケーションに関する基本的な知識を学ぶ。	1 後	32	2	○		
○			情報処理演習Ⅰ	情報処理技術者試験に向けた対策演習を行う。	1 後	32	2	○		

		○	インターンシップ	IT企業と連携し、SE業務知識やクラウド技術など、ITエンジニアとして必要とされる知識・技術をIT企業の指導者のもとに作業しながら学ぶ。	1後	64	2			○
		○	特別講義Ⅰ	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	1前	32	2	○		
		○	特別講義Ⅱ	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	1後	32	2	○		
○			生き方講座Ⅲ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	2前	32	1			○
○			生き方講座Ⅳ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	2後	32	1			○
○			ソフトウェア開発知識Ⅰ	基本情報処理技術者に求められる、基本知識を身に付け、基本情報処理試験の受験を目指す。	2前	64	4	○		
○			ソフトウェア開発知識Ⅱ	応用情報処理技術者に求められる、応用的知識を身に付け、応用情報処理試験の受験を目指す。	2後	64	4	○		
○			セキュリティ	セキュリティの基礎知識、ウィルス対策、認証に関する知識、サーバのセキュリティについて学ぶ	2前	64	4	○		
	○		データベースアプリケーションⅠ	データベース管理システムAccessのVBAを使ったプログラミングを通して、SQLを使ったデータベースアプリケーションの作成方法を学ぶ。モデルシステムの開発も演習する。	2前	64	3	△		○
	○		データベースアプリケーションⅡ	表計算ソフトExcelのデータベースを活用した仕事に役立つデータベースアプリケーションの作成方法について学ぶ。	2後	64	3	△		○
○			オブジェクト指向設計	オブジェクト指向開発でのプログラム設計ができるよう、UMLを理解し、簡単なシステムを記述できるようにする	2前	32	2	○		
○			Webデザイン応用Ⅰ	Webデザインにおける基礎理論を実践し、より高度な専門的技術を習得する。Webデザインの企画から運用までの専門的知識を学び、Webサイト制作の実践を行う。	2前	64	3	△		○

○			Web デザイン応用Ⅱ	Web デザインにおける基礎理論を实践し、より高度な専門的技術を習得する。Web デザインの企画から運用までの専門的知識を学び、Web サイト制作の实践を行う。	2 後	64	3	△	○
○			オブジェクトプログラミングⅠ	Java の命令と文法およびオブジェクト指向を理解し、簡単なプログラムを作成できる力を養う。	2 前	96	4	△	○
○			オブジェクトプログラミングⅡ	オブジェクト指向プログラミングを理解し、Java を用いて GUI を利用した簡単なソフトウェアを作成できる技術を身につける。	2 後	96	4	△	○
○			Linux 基礎	Linux の仕組みや操作コマンドおよびシェルスクリプトの基礎を学ぶ。	2 前	32	1		○
	○		Linux 応用	Linux コマンドとシェルスクリプトプログラミングを学ぶ。Linux 実機を使い、運用や管理の方法も学ぶ。	2 後	64	3	△	○
○			サーバー構築	小規模ネットワークでのサーバ運用・管理が行えるように、Linux サーバと Windows2008 サーバ双方の、導入・設定・運用・管理を、実機による演習で学ぶ。	2 後	64	3	△	○
○			システムデザインⅠ	人間の行動を理解し、ユーザが操作しやすく、かつミスの起こりにくいインタフェース設計技術を身につける。	2 前	32	2	○	
○			システムデザインⅡ	Java の GUI 機能を利用した対話型インタフェース作成技術、プログラミング手法を学ぶ。	2 後	32	2	○	
○			情報処理演習Ⅱ	情報処理技術者試験に向けた対策演習を行う。	2 前	32	2	○	
○			情報処理演習Ⅲ	情報処理技術者試験に向けた対策演習を行う。	2 後	32	2	○	
		○	特別講義Ⅲ	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	2 前	32	2	○	
		○	特別講義Ⅳ	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	2 後	32	2	○	

○		生き方講座 V	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	3 前	32	1	○		
○		生き方講座 VI	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	3 後	32	1	○		
○		R u b y プ ログラミン グ基礎	オブジェクト指向言語である Ruby を用いたデータベース活用アプリや WEB アプリの作成について学ぶ	3 前	128	6	△		○
○		R u b y プ ログラミン グ応用	Ruby ON Rails を用いた Web アプリケーションの開発について学ぶ。	3 後	128	6	△		○
○		モバイルプ ログラミン グI	App Inventor を利用した Android タブレットで動作するアプリケーションの作成方法を学ぶ。	3 前	64	3	△		○
○		モバイルプ ログラミン グII	J a v a 言語使い、Android タブレットを活用したマインドストーム NXT の制御プログラムを学習する。	3 後	64	3	△		○
○		組み込みシ ステム	Arduino や KINECT といった機材を活用し、各種機器の制御の仕組みやプログラミングを学習する。	3 前	96	4	△		○
	○	データベー ス構築	データベース管理システムのインストールから、多くのユーザを前提とした運用・管理までの操作方法を、実習を通して学ぶ。	3 前	64	3	△		○
○		ネットワー ク構築 I	小規模ネットワークを管理できる技術の習得。OSI 参照モデル、TCP/IP プロトコル、LAN の基本、レイヤ 2 スイッチ、RPI、ネットワークセキュリティを学ぶ。	3 前	64	3	○		△
○		ネットワー ク構築 II	小規模ネットワークを管理できる技術の習得。WAN、PPP、無線 LAN を学ぶとともに、ネットワーク構築実習を行う	3 後	64	3	△		○
	○	仮想化技術	サーバの仮想化やストレージの仮想化など昨今の仮想化の仕組みと機能を学習する	3 前	32	2	○		
○		システムマ ネジメント	システム開発におけるプロジェクトマネジメントについての知識の取得と、プロジェクトマネジメントで実施すべき事柄を習得する。	3 後	32	2	○		

○			システム開発実践	グループを組んで、オリジナルなシステムの設計・開発を行う	3 後	128	4			○
	○		情報処理演習V	情報処理技術者試験に向けた対策演習を行う。	3 前	32	2	○		
	○		情報処理演習VI	情報処理技術者試験に向けた対策演習を行う。	3 後	32	2	○		
		○	特別講義V	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	3 前	32	2	○		
		○	特別講義VI	既存のカリキュラムでは開講されていない、業界で必要とされる知識・技術を取り上げて学ぶ。	3 後	32	2	○		
合計					63 科目	3,328 単位時間 (164 単位)				